

7日 金曜

ペテロ I

4:1 キリストは肉において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。肉において苦しみを受けた人は、罪との関わりを断っているのです。

4:2 それは、あなたがたが地上での残された時を、もはや人間の欲望にではなく、神のみこころに生きるようになるためです。

4:3 あなたがたは異邦人たちがしたいと思っていることを行い、好色、欲望、泥酔、遊興、宴会騒ぎ、律法に反する偶像礼拝などにふけりましたが、それは過ぎ去った時で十分です。

4:4 異邦人たちは、あなたがたと一緒に、度を越した同じ放蕩に走らないので不審に思い、中傷しますが、

4:5 彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしておられる方に対して、申し開きをすることになります。

4:6 このさばきがあるために、死んだ人々にも生前、福音が宣べ伝えられていたのです。彼らが肉においては人間としてさばきを受けても、霊においては神によって生きるためでした。

4:7 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。

4:8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。

4:9 不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。

4:10 それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。

4:11 語るのであれば、神のことばにふさわし



く語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

「肉体において苦しみを受け」ることの恵みは、主により頼むことの経験です。人の力ではどうすることもできない切実な問題に、主は応えてくださるのです。そのような主を身近に感じることができます。また、その恵みは自分の弱さに気づくことです。自分の力ではどうにもならないときに、人は主への信頼を増し加えます。そして、その痛みにもすばらしい主のご計画と、守りと、逃れの道があることを分かせてくださいます。

さらにその恵みは、主と同じ経験です。主イエスが十字架で受けた苦しみの、ほんの一部を分かせてくださり、そのような者にしか味わうことのできない、主との愛の一体感を経験させてくださるのです。そしてそれは同じように苦しんでいる人々への慈愛につながってゆきます。

このようにすばらしい永遠の真理と愛に導かれた者は、はかない罪の楽しみや、薄汚れた罪の束縛には影響されなくなります。ですから「肉体において苦しみを受けた人は、罪とのかかわりを断ちました。」ということが起きるのです。苦しみから逃げないで、恵みを見出して、雄雄しく受けて立ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

